

令和2年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和3年4月19日
下関短期大学付属第一幼稚園

1. 本園の教育目標

教師や友達との信頼関係の中で、安定感をもって園生活を送りながら自分で考えて行動し、主体的に活動する子どもを育てる。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

一人一人の子どもを大切にされた質の高い教育・保育の実践を目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもの主体的な活動を支援する	A	教師との信頼関係を築けるよう、子どもの声にしっかり耳を傾け、共感することで安心して子どもは、いろいろなことに、取り組むようになってきた。
2	安心・安全な教育環境を整備する。	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用、手洗いやうがいの励行、トイレ後の消毒、保育室の消毒や換気等を、これまで以上に心掛けた。
3	職員研修の充実を図る	B	今年度は、コロナの関係で参加できる研修がなく残念であったが、機会があれば来年度は積極的に参加したい。

評価(A= 十分に成果があった B= 成果があった C= 少し成果があった D= 成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	3つの項目について重点的に取り組んだ結果、一人ひとりの子どもを大切にされた質の高い教育・保育の実践までには至らなかったが、子どもの話にしっかり耳を傾け、共感することで、子ども達が意欲的に物事に取り組んだことは、評価できる。コロナ禍での園行事については、状況に応じて対応した。

評価(A= 十分に成果があった B= 成果があった C= 少し成果があった D= 成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育内容の検討	これから1年間、自分自身が特に力をいれていきたい教育内容について、課題を設定し、内容の充実に取り組む。
2	園行事の見直し	認定こども園としての園行事の在り方、特に園児募集に力点を置いた行事の在り方について、教職員間で共通理解を図りながら進める。
3	研修の充実	園内研修を充実させ、各自が、設定保育の機会を設け、内容についての研修を深め、質の高い教員を目指す。

6. 学校関係者評価委員会の評価

(1) 教員の自己評価について

- ① 今年度の目標「一人ひとりの子どもを大切にされた質の高い教育・保育の実践を目指す」を掲げ

3項目に分けて取り組んできたが、ある程度実践できた取り組みもあるが、まだまだ不十分な部分もあるように思う。

- ② 「職員研修の充実を図る」については、コロナ禍で、1年間思うような研修ができなかった。これについては、次年度に改めて計画してほしい。

(2) 保護者アンケートについて

- ① 「保護者アンケート集計結果」で、保護者の自由記述が紹介されているが、園に寄せられた保護者の意見に対し、誠意ある回答、温かな対応が伝わってきた。様々な意見がある中で、反省すべき点は、きちんと改善方法を示し、ご理解いただきたい点は、園としての方針をきちんと伝える姿勢が読み取れた。とても素晴らしいと感じた。
保護者の生の声を載せる集計方法は、保護者と教職員との絆をより強くしていく一助となると感じた。
- ② 昨年5月から第一幼稚園安心メールが立ち上げられた事で、緊急連絡がスムーズに伝わるようになったことを保護者がとても喜んでおられることがよくアンケート結果からわかる。こういう緊急連絡が取れる方法は、今後もますます大事になるように思う。
- ③ 「英語で遊ぼう」「体育教室」「リトミック」等の、専門の講師による指導を、保護者はとても喜んでいるように思う。今後も大事にしていく必要がある。
- ④ 出生率の減少により、今後、園児の確保がますます難しくなってくる中で、中期計画を作成し、対応していく事はとても大事な事である。

まとめ

「教員の自己評価」や「保護者アンケート」を通して、園の実態をそのまま評価委員会に報告した所、委員からは好意的なご意見をいただいた。何よりも先生方が、子どもと一緒に、日々の実践を地道に努力しておられることが好意的な意見につながったのではなかろうか。今後は、教員の質の向上に向けて具体的な取り組みを進めることが必要である。